

2025年12月5日(金曜日)の毎日新聞に きらむぎ店イベントについて掲載されました!

2025年(令和7年)12月5日(金)

毎 日 新 聞

パンの缶詰で 防災を考える

6、7日 那須塩原でフェス

パン製造販売会社「パン・アキモト」(那須塩原市)は、地域の防災意識向上を目的とした親子で楽しめる体験イベント「防災体験フェス」を6、7日、同市東小屋の石窯パン工房きらむぎで開催する。両日は、創業78周年を記念した創業祭も行われる。

同社は、1995年の阪神大震災の際に被災地にパンを届けたものの、輸送の遅れで多くが腐ってしまった経験から「おいしくて柔

らかいまま長期保存できるパンを作る」と決意。試行錯誤を重ね、長期保存が可能な缶入りパンを完成させた。

安心・安全なおいしい防災備蓄パンとして、東日本大震災や熊本地震の被災地でも喜ばれたほか、賞味期限前の商品を回収し海外の飢餓地域へ届ける「救缶鳥プロジェクト」も展開している。

会場では同プロジェクトの紹介のほか、パンの缶詰も販売する。また、自衛隊ブース



2024年に発生した能登半島地震では被災地でパンの缶詰を配布した。石川県輪島市で、パン・アキモト提供

「るひい」も登場する。創業祭では、人気パンの特価販売やパン購入者が参加できる抽選会も実施される。

両日も防災フェスは午前9時～午後3時(抽選会は午前10時から)、店舗営業時間は午前7時～午後6時半。

同社の秋元義彦会長は「災害時は行政も混乱しているので、まずは自助・共助が重要になる。おいしいパンを食べながら、防災への関心を高めてほしい」としている。

【村田拓也】